

受けよう

肺がん
(結核) 検診

市では、他のがんに比べて肺がんによる死亡者が特に多くなっています。また、結核も日本において未だ死亡する人が出るほどの重大な感染症です。

肺がん・結核を早期発見し、大切な命と健康を守るため、この機会に必ず受診しましょう。9月中旬に肺がん検診の対象者に通知書を郵送します。通知書が届かない人でも対象者に該当する場合は受診できるので、連絡してください。

● 検診内容

問診と胸部エックス線撮影
※ 50歳以上の人は喀痰検査(2640円)を追加できます。

● 対象者

40歳以上の人(昭和61年3月31日までに生まれた人)で、職場や病院などで検査の機会がない人

● 検診料金 / 700円

表 令和7年度肺がん(結核)検診日程

検診日	受付時間	会場 午前 9時半～11時半 午後 1時半～3時	検診車台数
9月24日(水)	午前	市多目的研修センター(篠木鳥谷平 52)	1台
	午後	大沢集落センター(大沢堰合 20-3) ※ 1	
25日(木)	午前	大釜地区コミュニティセンター(大釜外館 116-9)	1台
	午後	滝沢勤労者体育センター(大釜高森 58-5)	
26日(金)	午前	一本木地区コミュニティセンター(留が森 128-2)	1台
	午後	北部コミュニティセンター(巣子 148)	
29日(月)	午前・午後	小岩井地区コミュニティセンター(大釜風林 18-7)	1台
10月1日(水)	午前・午後	滝沢ふるさと交流館(土沢 265-3)	1台
2日(木)	午前	姥屋敷多目的研修センター(鵜飼安達 139)	1台
	午後	柳沢地区コミュニティセンター(大石渡 1522-6)	
5日(日)	午前・午後	滝沢ふるさと交流館	2台
6日(月)	午前・午後	滝沢ふるさと交流館	2台
7日(火)	午前	あすみ野コミュニティホール(湯舟沢 222-922)	1台
	午後	けやきの平集会所(外山 204-143) ※ 2	
8日(水)	午前・午後	ビッグブルー滝沢(下鵜飼 1-15)	2台
10日(金)	午前	川前地区コミュニティセンター(大崎 263-9)	1台
	午後	南巣子集会所(巣子 203-3) ※ 1	
14日(火)	午前・午後	鵜飼地区コミュニティセンター(鵜飼大緩 52-6) ※ 1	1台
15日(水)	午前・午後	ビッグブルー滝沢	2台
16日(木)	午前・午後	滝沢ふるさと交流館	2台
17日(金)	午前・午後	ビッグブルー滝沢	2台
19日(日)	午前・午後	葉の木沢山活動センター(葉の木沢山 460-1)	2台
20日(月)	午前・午後	葉の木沢山活動センター	2台
21日(火)	午前・午後	葉の木沢山活動センター	1台
22日(水)	午前・午後	市東部体育館(大崎 94-7)	1台

※ 1 駐車場が数台分しかありません。車での来場はできません。

※ 2 会場が狭く大変混雑します。指定日以外での来場は控えてください。

● 料金免除

次の人は料金が免除されます(喀痰検査を除く)。

- ① 70歳以上の人
- ② 65～69歳の後期高齢者医療保険制度に加入している人
- ③ 市・県民税が非課税世帯の人
- ④ 生活保護世帯の人

※ ③か④に該当する人は事前に手続きが必要です。受診する前に、必ず健康づくり課に連絡してください。

● 検診日程 / 左表のとおり

● 問い合わせ / 健康づくり課
(☎ 656・6527)



9月は 「こころに寄り添い いのちを守る いわて」月間

国は9月10日（水）～16日（火）を自殺予防週間と定めています。本県は、全国の中でも自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）が高く、1人でも多くの自殺を防ぐため、9月を「こころに寄り添いいのちを守るいわて」月間と定め、啓発事業・支援事業を実施します。市でも同様に相談事業や啓発事業を強化します。

夏休み明けの8月後半～9月は子どもの自殺が増えやすい傾向にあるため、今回はこどものSOSサインに気づくポイントについて紹介します。

「今まではこんなことがなかった」「普段の様子と違う」など、いつもと違うことへの気づきが大切です。次のようなサインが続いているようなら、子どもから話を聞いてみましょう。

－ 子どもの SOS サイン －

睡眠

- ・布団に入ってもなかなか寝つけない
- ・遅くまで夜更かししている
- ・朝、起きるのがつらそう、なかなか起きられない
- ・睡眠のリズムが崩れている
- ・眠れないと言う

食欲

- ・食欲がない、逆に食べすぎる
- ・とくにパンやご飯、菓子などの炭水化物を欲しがる
- ・急に痩せた、太った
- ・体重をととても気にしている

体調

- ・体がだるそう
- ・疲れている
- ・元気がない
- ・顔色が悪い
- ・腹痛や頭痛、めまい、吐き気などを訴える

行動

- ・学校に行きたがらない
- ・家から出ないでひきこもりがちになった
- ・友達と遊ばなくなった
- ・身だしなみに構わなくなった
- ・無口になった
- ・あいさつをしなくなった
- ・何度も同じ動作や行動を繰り返す
- ・気持ちが抑えられなくなり暴力を振るう
- ・何もしないで長い間ぼんやりしている
- ・表情が変わらず、感情面での反応が少なくなった
- ・話が支離滅裂になった、通じなくなった
- ・独り言を言うようになった

● SOSサインに気づいたら

「まず話を聞いてみる」

悩みがあるとき、話を聞いてもらい気が楽になったという経験は誰にでもあるはずです。いきなり「病院に行こう」と言うよりも、まずは不安な気持ちを聞いてあげましょう。話してくれない時には無理強いせず「いつでも聞けるからね」と伝え、話してくれるのを待ちましょう。

● 話を聞くときのポイント

子どもが話し始めたら、アドバイスをするよりも「大変だね、辛かったね」と受け止めてあげましょう。「○○すべき」「○○してほしい」という考えがあるのは当然ですが、その気持ちは少し脇に置いて、じっくりと子どもの気持ちに共感し、受け止めることが大切です。一緒に乗り越えていこうというメッセージが大きな支えになります。

このようなサインがあるからといって、必ずしも心の病気とは

表 相談窓口一覧

相談窓口	電話番号	受付時間
地域福祉課 (基幹相談支援センター)	656-6517	月～金曜 午前8時半～午後5時
県央保健所	629-6574	月～金曜 午前9時～午後4時半
こころの相談電話 (県精神保健福祉センター)	622-6955	月～金曜 午前9時～午後6時
盛岡いのちの電話	654-7575	月～土曜 正午～午後9時 日曜 正午～午後6時

限りませんが、多くの場合、早期に治療するほど回復も早くなるといわれています。つらい症状が続いている場合は、早めに相談してみましょう。

参考「厚生労働省HPこころもメンテしよう」ご家族・教職員の方へ



● 問い合わせ／健康づくり課
(☎656・6527)